平成25年 岐阜大学学生企業展

スローガン

「始まる! 君だけのSuccess Story」

就職することをゴールにしたり、大企業に入社 することを目的にしたりするのではなく、その 後に働き続ける中で「成功した!」と思える就 職活動をしてほしいですね。(飯田さん)

12月7日生、8日目 10:00~16:30

岐阜市文化センター(催し広場)

参加企業数

172社 (両日合わせて)

オリジナルセミナー

11月27日承

第1弾 ビジョンアップセミナー 11月6日丞 第2弾 グループディスカッションセミナー 11月13日承 第3弾 自己分析セミナー 11月20日承 事前説明会&マナーセミナー

冊子責任者

工学部 機能材料工学科3年

人事担当者と話す機会があるなど、貴重な

体験ができると思い、今年から参加しまし

た。実行委員長が約2週間のインターン

に行った時、彼の仕事をみんなで分担した

のですが、その業務量に驚きました。考え

て動かないととんでもないことになると自

覚し、積極的に動けるようになりましたね。

様々な企業の方と関わる中で自分の将来

のことを具体的に考えていきたいです。

佐野 達哉 さん



(工学部 機械システム工学科 平成17年卒業)

参加企業人事担当者に聞きました!

実行委員を介して各企業の魅力が 学生たちに伝わっていくんです。

岐阜大学2年生の頃、友人3人でこの学生企業展を立ち上げ、初代実行委員を務めました。300 社以上訪問し、約50社に参加していただきました。活動を通して、各企業の意外な業務内容や 魅力を知ることができたので、視野が広がりましたね。現在は一企業の人事担当者として参加し ています。実行委員が橋渡し役になって、学生に「あの企業いいよ」と伝えることで学生が来て くれることも。よい出会いの場ですね。岐大生は優秀ですが、面接になると消極的です。私は常々 「知る努力」が重要だと感じていて、就職活動も同じだと思います。企業展などで社会人と積極 的にコミュニケーションを取って場数を踏み、一発勝負の面接で成功してもらいたいですね。

実行委員メンバーに聞きました!

応用生物科学部 応用生命科学課程3年

今井 那奈 さん

先輩から声を掛けられて2年生の頃から参 加しています。昨年やり残したことをやり 切りたい、という思いから今年も実行委員 になりました。副実行委員長の仕事は、企 業の方へ送る資料を作成したり、手が回ら ないメンバーたちを手伝ったりすること。 今、参加者の笑顔が見られることが一番幸 せです。将来は企画をする仕事に就けた らうれしいですね。



GROW UP!

メールのやりとりで失礼が あって、企業の方からお叱り を受けました。この経験を次

GROW UP!

企業の担当者と上手く話せな いことに気が付き、苦労するメ

GROW UP!

委員長専用の携帯を 受け取ったときに責 任を実感しました。

5-7月

を企画・学生企業展

の

走り続ける実行委員メンバー

「岐阜大学学生企業展 成功を目指して

毎年12月、2日間に渡って開催している「岐阜大学学生企業展」。 岐阜大学生が中心となって企画・運営する就職イベントです。 12回目を迎えた平成25年は企業172社、学生1,130人が参加し、大盛況のもと幕を閉じました。 そして、実行委員として奮闘した学生は、3年生14人、2年生4人の計18人。 参加企業を訪問して担当者の前でプレゼンしたり、オリジナルセミナーを企画したり。 イベントの成功を目指して、挫折しながらも走り続ける学生たちの姿がありました。

実行委員長 地域科学部 地域政策学科3年 飯田 潤 さん





学生企業展は岐大生と地元企業とを繋げる場。 地域振興でもあると感じます。

この学生企業展は、学生が企画・運営するため会場の雰囲気はアッ トホームですし、学生が知りたい情報を集められます。毎年、参加 企業の情報をまとめた冊子を学生に配布していますが、それには採 用対象学部や社風まで記載しています。また、学生の就職意識を 高めるため、事前に自己分析などの体験型セミナーも開催していま す。岐大生が地域で働くきっかけになるイベントなので、地域振興 に携わっているという意識がありますね。

今年から会場を変更するなど、 常に改善点を模索しています。

昨年参加した企業の声を参考にして、会場を環境やアクセスのよ い岐阜市文化センターに変更し、ウェブサイトも見やすく作り変 えました。また、200社近くが参加する企業展の企画・運営は 学生にとって責任が重いため、運営方法をマニュアル化するなど、 後輩たちのために何かを残していきたいですね。

学生企業展当日に向けて、奮闘しながら成長していく学生たち

意識すれば自分を変えていける、と信じて 実行委員長をやり遂げたいです。

2年生のとき、苦手なこと、例えば大勢の人の前で話すことができ ないことを克服したいと思い、実行委員になりました。すると、2年 の終わりには学生400人の前で堂々と話すことができ、意識すれ ば自分は変われると感じましたね。3年生から実行委員長になり、 プレッシャーに負けそうになることもありますが、自分にプラスにな る機会があるなら生かしたいと思っているので、やりがいを感じて います。メンバーには積極的に運営に携わってほしいので、仕事の 分担はそれぞれの性格に合わせて変えています。将来は、地域の 経営者を支援する銀行やコンサルタント会社、地域の不動産を扱 う鉄道会社など、地域振興に関わる会社に就職したいですね。

平成25年の実行委員メンバー

工学部 10人 応用生物科学部 2人 応用生物科学部 1人 計18人 地域科学部 2人 地域科学部 2人

教育学部 1人

12月

> 学生企業展本番

ナーを開催

百的が 責任を持って 制作を開始 の

を 定 役割分

企業を訪問 セミ

回 会議を行う 実行委員の募集がある「就職ガイダンス」で 主催



